

ガールスカウト・ボーイスカウトが町内各所で活動中!



▲受付係を手伝うガールスカウト

キャンプやハイキングなどの野外活動のほか、地域への奉仕活動も行っているガールスカウト・ボーイスカウト。本町でも地域貢献活動として、各所でボランティア活動を展開しています。

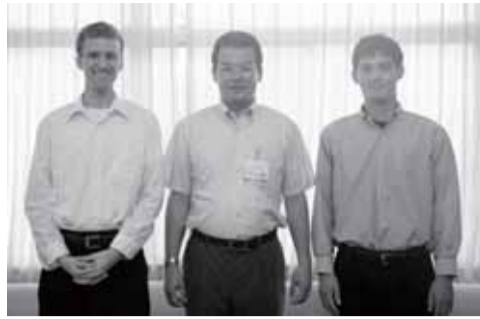
7月23日の「いきいき町民大学講座」では、ガールスカウト・ボーイスカウトの子どもたちが受付係として登場。大きな声であいさつをし、しっかり氏名を確認しながら受付業務・資料配布をこなしてくれました。

受講生からは「かわいい子どもたちの受付が毎回楽しみです」と大好評。今後も、「いきいき町民大学講座」の受付業務ほか、「献血」でも呼び掛けをしていきます。

町内でスカウトの活動を見掛けたら、ぜひ声を掛けてご協力ください。

問 生涯学習課 生涯学習班 ☎ (70) 0380

▶ロジッチ・アダムさん(右) マイク・バートンさん(左)



新しいALTを紹介します

大網白里町の皆さん、こんにちは! はじめまして! わたしはロジッチ・アダムです。アメリカのシカゴの近くから来ました。日本は初めてです。

生物学と化学と教育を勉強していて、趣味は写真を撮ることとピアノを弾くことと宮崎駿監督の映画を見ることです。日本に来る前に少し生物学を教えました。

アメリカと日本の友情がとても大切なことだと思います。だから日本語について勉強することとたくさんの人と会うことをとても楽しみにしています。わたしは日本語があまり上手ではないので、たくさん習いたいです。だからわたしに日本語・英語のどちらでもいいのでたくさん話しかけてください!

Mike Barton

大網白里町の皆さん、こんにちは! はじめまして! わたしはロジッチ・アダムと申します。アメリカのウィスコンシン州から来ました。22歳です。2009年に一年間くらい早稲田大学に留学していました。アメリカでの専門は日本研究でした。

趣味は本や漫画を読むことと、映画を見ることです。6人家族です。父と母と二人の兄と一人の弟がいます。

大網白里町でALTとして働くことをとても楽しみにしています。もし町でわたしを見たら「Hello」と言ってください。

Adam Roach

多くの児童・生徒が外国語を楽しく、そして興味深く学習できるように、新しく英語指導助手(ALT)を迎えました。

9月から、各学校で英語の指導に当たるロジッチ・アダムさんとロジッチ・アダムさんからメッセージをいただきましたので、紹介します。

コスモス通信

◆第15回千葉県スポーツ少年団バドミントン交流大会本町選手の結果

※敬称略

男子小学生3・4年の部

第3位 塚田 湧也

男子中学生ダブルス

優勝 伊藤 優牙

木村 翔組

柳 晴貴組

宮嶋 翼組

女子中学生ダブルス

優勝 田中 舞奈組

工藤 友佳組

小川 千香子組

工藤 結子組

第3位

久保田 陽香組

八本 星香組

久保田 明香組

宮内 真乃組



「ガスと暮らしの安心」運動

都市ガス事業者と日本ガス協会は、安心してガスを使っていたり、安全周知を中心とした活動を全国的に行っています。

「うっかり」などで事故が発生する可能性があります。ガスを利用する一人一人が考えることで、事故のない快適な暮らしを実現しましょう。

「ガスの事故を防ぐために」
・ガスを使用するときは必ず換気をしましょう。



・料理中はガステーブルから離れないようにしましょう。
・ガス漏れ、複合型警報器を設置しましょう。



詳しくは、日本ガス協会のホームページをご覧ください。
名探偵コナングッズが当たるプレゼントクイズも実施中です。
▼一般社団法人日本ガス協会ホームページ
URL <http://www.gas.or.jp>
問 ガス事業課 ☎ (72) 1131

「いわし文化」を知る

シリーズ最終回

いわし文化の最後、レンズ

北今泉の上代平左衛門家(通称あらしき)は四天木の斎藤四郎右衛門家に次ぐ大網元でしたが、大正八年漁業を廃業し昭和四、五年には二百ヘクタールの農地を解放し、当主の上代斎氏はやがて来るカメラの時代を予見して、弟の格氏をレンズ研究のため、ドイツへ留学させました。上代格氏は帰国の時、ドイツ娘ヘルタさんを伴っていた事は地域の話題となりました。

東京に出た斎氏は茂原の高橋民之助氏と共に、「五條光機製作所(ザイカ)」を起業し、レンズ研磨によりドイツのライカの下請けも行なう順調に操業しましたが、やがて戦争となり五條光機は技術院総裁井上

敗戦後、平和が訪れると世界的にカメラブームが起こり、五條光機は「サン光機」と改称し、レンズのアメリカ輸出が盛んになり、斎氏の従弟上代正一氏も「オーシヨンレンズ」を、縁者の泉氏は「泉光学」を起業し、更に周辺にはレンズ研磨の下請けも増加し、恰も北今泉海岸はレンズ村の雰囲気醸し出したのです。サン光機の社長を継いだ長

男道夫氏は、海外発展を目指して香港に進出し「恒星光学有限公司 太陽牌神鏡」を起業し、理事長(社長)として活躍しますが、本社の倒産により香港から撤退します。

オーシヨンレンズはその後、ベトナム戦争中にもアメリカ輸出が続けますが、昭和五十年代に操業を停止します。

「漁業と上総木綿とレンズ村」を書き終るにあたり、樽を漕ぐ漁師たちのかけ声、軽快な焼き玉エンジンの響き、おっぺし女たちの賑やかで元気な声、上総木綿の機音が鳴り響き、娘たちの軽やかな声が飛び交い、レンズ工場からは玉を磨く音が響き、若者たちが思い思いの職場で、元気に働いていました。白里浜の昭和三十年代、米軍の実弾射撃訓練はいつの間にか終わっていました。(おわり)

文責/文化協会 鈴木 茂

『いわし文化顕彰碑』募金にご協力を

◆九十九里浜の「いわし文化」

特別企画展「いわし文化を知る」や、シリーズ「いわし文化を知る」で、紹介してきた文化を知る一で、紹介してきましたが、今から二百年ほど前の江戸時代後期、いわしの豊漁に伴って九十九里浜に開花した文化を「いわし文化」と呼んでいます。

地引網を営む有力な網元たちは、競って江戸の文人墨客を招き交流を深めました。網元たちも一芸を身に付け、例えば四天木の斎藤家十二代四郎右衛門(巻石)は画業を極め、多くの傑作を残し、その別邸大洋庵には自らの作品、

蒐集した貴重な書画骨董が山積していたといわれます。大洋庵を訪れた詩人の梁川星巖、画家の谷文晁や椿椿山などを始め、当時の白里浜には全国各地の文化人たちがひきつける輝きがありました。

◆遺産や史蹟が年々散逸
しかしその後、白里浜の漁業は往年の輝きを失い、網元たちの邸宅や書画骨董も四散してしまいました。南今泉の稲生神社に残る絵馬など貴重な遺産もありますが、白里浜の観光面での拠点ともなりえた史蹟等が散逸し、保護の意識も希薄になりつつあります。

活力ある町づくりは地域の過去の遺産を正當に評価することから始まる、先人が築いた文化を後世に伝承することが今日に生きる者の務めだと思いつくから、白里浜の一面に「いわし文化」の顕彰碑建立を計画しました。

◆皆様のご賛同・ご協力を

建立には、町の協力だけでなく、趣旨に賛同する方々からの募金が基礎になります。募金の目標を二百万に置き、一口一千元として、広く賛同者の方々に協力をお願いしています。趣旨に賛同のうえ、協力をお願いします。

白里浜いわし文化顕彰碑建設委員会/委員長 花沢昇
問 事務局/足立 ☎ (72) 7519